講義シラバス

【TOEIC®テスト 即効技術セミナー 全16回（約8時間）】

【講　師】ロバート・ヒルキ（Robert Hilke）

企業研修トレーナー

企業研修トレーナー。元国際基督教大学専任講師、カリフォルニア大学大学院修了（言語学）。異文化研修および TOEIC、TOEFL、GRE など、テスト対策のエキスパート。これらの講座を国際的な大企業向けに年間約 250 日行う。TOEIC 関連著書は 40 冊を超え、TOEIC 関連セミナーでの教授暦は 20 年以上に及ぶ。共著『新 TOEIC®テスト直前の技術』（アルク）、『新 TOEIC®テスト「直前」模試 3 回分』（アルク）などがある。

＜講座の目的＞

企業研修でも数多くの実績のあるロバート・ヒルキ氏による TOEIC 対策セミナー。ハイスコア獲得に必要な「43 の技術」を掲載したテキスト『新 TOEIC®テスト 直前の技術』を用いて学習するプログラムです。問題パターン別攻略法や頻出ポイントがよくわかり、最短４日で学習することができます。短期間でスコアアップを狙う方、独学でなかなか効果が上がらなかった方におすすめの講座です。

講義受講に際しては、会場の受講生と一緒にテキストの問題に挑戦してみましょう。また、各パートの講義の受講が終わったらば、Web キャンパス上で受けることのできる「実践問題（理解度テスト）」（各パートそれぞれ約 10 問）に挑戦してください。

テキスト巻末には TOEIC テストと同じ形式（２時間、200 問）の「TOEIC®テスト 完全模擬試験」がありますので、総まとめとして受験しましょう。

講義はすべて英語で収録していますが、講師の英語はわかりやすいので、TOEIC500 点程度の方なら十分に聞き取れる英語です。

・対象レベル：TOEIC テスト 500 点以上
・目標レベル：TOEIC テスト 730 点以上

※1. 本講座は、株式会社アルクで 2007 年 3 月 12～15 日に開催された 4 日間のセミナーを DVD 化した『新 TOEIC®テスト ロバート・ヒルキの 730 点突破ゼミ』を同社の協力により Web 化、実践問題を加えたものです。講義内容は『新 TOEIC®テスト ロバート・ヒルキの 730 点突破ゼミ』と同一のものです。

※2. 連続した講義をテーマ毎に分けて編集したものですので、各回の最後の音声が途中で終了しているものもございますが、ご了承ください。映像上で一部「DVD」と表示されるテロップもございますが、本講座ではストリーミング配信映像のことを指しています。また、テキストの練習問題を解く際に、映像のテロップで「※解答用紙の○○○～○○○を使ってください」と表示されますが、この講座では解答用紙の配布はございません。

※3. 本講座受講には、テキスト『新 TOEIC®テスト 直前の技術』（アルク）（定価 2,200 円＋税）が必要です。テキストは本講座の受講料（定価 25,200 円＋税）に含まれています。）

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.

TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

【カリキュラム】

【第1回】1日目－1　オープニング　[講義55分]

第1回では、TOEICがどのようなテストなのか、その特徴を明らかにするとともに、TOEICテスト攻略のポイントについて解説します。

TOEICでは日本人の弱点を突く問題が出されます。良い点数を取るためには、TOEICテストの特徴を把握し、今持っているご自身の英語の実力をテストで十分発揮する必要があります。この4日間のセミナーでは、ご自身の英語の力をTOEICテストで十分に発揮してもらうためのストラテジー、スコアアップのための【技術】を教えます。

TOEICテスト攻略5つのポイント：

ポイント1：Time Management　効果的な時間管理
ポイント2：Using scientific guessing strategies　科学的な推測
ポイント3：Vocabulary　TOEICのための語彙
ポイント4：Concentration　集中力
ポイント5：Practice! Practice! Practice!　良い教材を使って練習を繰り返す

[テキスト　p.3～p.15]

【第2回】1日目－2　パート2(1)　導入　攻略の基本～　[講義39分]

TOEICテストで最もスコアを上げやすいのがこのパート2です。問題パターンが限られていて、選択肢が3つしかありません。この講義でその対策を学ぶことで、100%の正解を狙います。

今回の講義では、パート2の中でも、【技術1】キーワードを避ける、【技術2】WH疑問文をとりあげて、実際に問題を解きながらその技術の内容を解説します。

[テキスト　p.16～p.21]

【第3回】1日目－3　パート2(2)　解説　質問でない疑問文～　[講義33分]

第3回では、パート2の中で、【技術3】質問でない疑問文、【技術4】Yes/No疑問文、【技術5】陳述、【技術6】選択疑問文、について解説します。

尚、毎回の学習に際しては、これまで学んだ内容をもう一度テキストの問題を解いてみるなどして、ご自身で必ず復習するようにしましょう。

[テキスト　p.22～p.35]

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.

【第4回】2日目-ー1　パート2(3)　復習　[講義27分]

第4回では、これまでに学んだパート2の復習を行います。会場の皆さんと一緒にパート2のポイントを振り返ってみましょう。また、練習問題としてテキストp.36の問題に取り組みます。会場の皆さんと一緒にチャレンジしてみましょう。

[テキスト　p.36〜p.41]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート2の「実践問題（理解度テスト）」があります。Webキャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

【第5回】2日目ー2　パート5(1)　導入　イントロダクション〜　[講義54分]

短文穴埋め問題であるパート5は、予測できる問題で、パート2に次いでスコアを上げやすいパートです。技術をしっかり身に付けて解答時間の短縮を図りましょう。

第5回では、【技術7】読まずに解く問題1「品詞」、【技術8】読まずに解く問題2「前置詞/機能語」、【技術9】読まずに解く問題3「小さい接続詞」、そして【技術11】読んで解く問題1「語彙」、【技術12】読んで解く問題2「大きい接続詞について学習します。読まずに解く、読んで解くとはどのようなことか、問題を解きながらしっかり学習しましょう。

[テキスト　p.42〜p.49、p.56〜p.59]

【第6回】2日目ー3　パート5(2)　解説　判断が必要な問題1 〜　[講義27分]

第6回では、前回に引き続いてパート5の技術について学習します。【技術10】判断が必要な問題1「動詞の形」、【技術14】判断が必要な問題2「比較」、【技術13】読んで解く問題3「代名詞」について学習します。また、パート5の練習問題として、p.64〜65、p.52〜53にもチャレンジしましょう。

[テキスト　p.50〜p.51、p.62〜p.63、p.60〜p.61、p.64〜p.67、p.52〜p.55]

【第7回】2日目ー4　パート6(1)　導入　イントロダクション〜　[講義20分]

パート6は長文穴埋め問題です。設問は「独立型」と「文脈型」に分けることができ、前者は空所を含む文の中にヒントがあり、後者は空所を含む文だけでなく前後の文脈を理解してから解答するものです。ここでマスターすべきは、まず設問をこの2つに分類することです。今回は、パート6の解法として、【技術15】独立型1「品詞/前置詞」について学びます。

[テキスト　p.68〜p.71]

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.

【第8回】3日目－1　パート5(3)　復習　[講義10分]

第８回では、テキストp.64～p.65の練習問題を実際に行いながら、パート5の復習をします。パート5の問題は、「読まずに解く問題」、「読んで解く問題」、「判断が必要な問題」の3つに問題が分類できます。これらを復習しながら問題にチャレンジしてみましょう。
[テキスト　p.64～p.67]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート5の「実践問題（理解度テスト）」があります。Web キャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

【第9回】3日目－2　パート6(1)　解説　イントロダクション～　[講義27分]

第９回では、パート6の続きとして、【技術16】独立型2「小さい接続詞/関係代名詞」、【技術17】文脈型「巨大な接続詞/人称代名詞」、【技術18】判断が必要な文脈型「語彙/動詞の形」を学びます。またp.78～の練習問題にもチャレンジしましょう。
[テキスト　p.72～p.81]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート6の「実践問題（理解度テスト）」があります。Web キャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

【第10回】3日目－3　パート1(1)　導入　イントロダクション～　[講義42分]

リスニングセクションのパート1は写真描写問題です。問題数は10問で比較的容易な問題ですが、気を緩めると選択肢を聞き逃すこともあります。音声を聞く前に写真をチェック、目立つものに注目、想像を必要とする選択肢は不正解といった基本をおさえましょう。

【技術19】人物「1人」、【技術20】人物「2人」、【技術21】人物「3人以上」について実際に問題を解きながら解法を学びます。
[テキスト　p.82～p.89]

【第11回】3日目－4　パート1(2)　解説　風景～　[講義27分]

第11回では、前回に続き、パート1について、【技術22】風景、【技術23】物と乗り物、を学びます。また、p.94～の練習問題にチャレンジしましょう。
[テキスト　p.90～p.101]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート1の「実践問題（理解度テスト）」があります。Web キャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.

【第12回】3日目－5　パート7(1)　導入　イントロダクション～　[講義16分]

パート7は読解問題です。パート5とパート6を高速で解答し、パート7に55分を割くことを優先しましょう。読めば解ける問題ばかりなので、確実にスコアアップを図りましょう。第12回では、問題を解く際にはまずパート7全体のイメージを掴む、短い文章から取り組むなど、パート7攻略の基本について解説します。

パート7の【技術24】手紙/メール/メモ、【技術25】フォーム/メニュー、【技術26】広告、【技術27】告知/求人/記事、【技術28】取扱説明書/保証書については、ご自身で解説を読み、設問にチャレンジしてみましょう。

[テキスト　p.102～p.123]

【第13回】4日目－1　パート7(2)　復習　シングルパッセージ～　[講義30分]

第13回では、前回に引き続き、パート7の攻略法を解説します。ここでは、【技術29】ダブルパッセージ「一文書型」、【技術30】ダブルパッセージ「両文書型」について学習します。

[テキスト　p.124～p.145]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート7の「実践問題（理解度テスト）」があります。Web キャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

【第14回】4日目－2　パート3　[講義56分]

パート3は会話問題です。攻略は容易ではありませんが、設問を先に読むことができれば恐れることはありません。ここでは、具体的な「先読みテクニック」と設問を素早く「タイプ分け」する方法を学びます。パート3とパート4の3つの設問には、全体的な内容を問う「森タイプ」と、個々の細かい情報を問う「木タイプ」があります。「森」タイプは後でも解けるので、早めに「木」タイプの問題に意識を集中することが大切です。

【技術31】場所を問う問題「森タイプ」、【技術32】職業を問う問題「森タイプ」、【技術33】話題を問う問題「森タイプ」、【技術34】理由・手段を問う問題「木タイプ」、【技術35】次の行動を問う問題「木タイプ」、【技術36】「森」と「木」を見極める、【技術37】選択肢を縦に読む、について学びます。

[テキスト　p.146～p.187]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート3の「実践問題（理解度テスト）」があります。Web キャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.

【第15回】4日目－3　パート4　[講義20分]

パート4は説明文問題で、上級者にとっても難しい設問ですが、パート3と同様に「設問の先読み」が重要で、パート3で学んだ技術が役立ちます。

【技術38】公共放送、【技術39】オリエンテーション/ツアー、【技術40】広告、【技術41】紹介、【技術42】ニュース放送、【技術43】電話メッセージについて学習します。

[テキスト　p.188～p.216]

※この回にはテキストの練習問題とは別に、パート4の「実践問題（理解度テスト）」があります。Webキャンパスの「理解度テスト」のボタンをクリックして学習してください。80%以上の正答率で合格となります。

【第16回】4日目－4　クロージング　[講義16分]

第16回は、最後のクロージングセッションとして、テスト直前の対策についてお話しします。

まず、TOEICテストの受験までほとんど時間がないという人は、パート2、パート5、パート6を最初におさえましょう。

また、テキスト巻末付属の「TOEIC®テスト 完全模擬試験」を受けましょう。このテストはTOEIC®テストと同じ形式で作られていますが、通常のテストに比べると若干難し目です。これは、実際のテストに余裕をもって挑んでもらうためです。

テスト受験まで少し時間があるのであれば、実際の試験と同じ環境を自分で作り、この模擬試験を最低10回は受けてみましょう。20回受ければベターです。模擬試験を受けたらば、どこに自分自身の問題があるのかを分析し、その問題にフォーカスして学習するようにしましょう。

最後に、本物の英語力を上げる4つのポイントを上げておきます。

1) Keep the switch on!
2) Guess!!
3) Vocabulary!
4) Practice!

TOEICそのものは目的地ではありません。英語を使ってコミュニケーションすることが目的ですので、それを意識して学習していきましょう。

以上

本資料の無断複製・転載を禁じます。
Copyright Business Breakthrough, Inc. All rights reserved.